

# インターンシップ

## 奈良県インターンシップ制度について

### 学生サービス課

### 奈良県インターンシップ 制度の趣旨と目的

近年、若年者の失業者や就職後短  
期間で離職する傾向にあり、この原  
因として、学生が働く意味を考える  
経験に乏しいこと、大学教育と実社  
会とのギャップが生じていること、  
若年者の職業生活に対する認識や  
価値観が変化していることが指摘  
されています。

このため、学生から社会人への移  
行過程を円滑化することが、これま  
で以上に重要になってきており、そ  
のためのひとつの手段として「奈良  
県インターンシップ制度」が、平成十一年に奈  
良県内の国・公立、私立の七大学で構成・設立  
されました。

当制度の特色としては、実習先が企業、県庁  
や市役所の行政機関にとどまらず、奈良の地を  
生かした神社、仏閣など、幅広い分野に及ぶ点  
があげられ、産官学連携のインターンシップと  
いえます。

また、この制度は、就職支援の一環として就  
職委員会が担当しており、平成十五年からは  
大阪樟蔭女子大学も参加し、八大学となりました。

表1 大学別参加者の推移 (単位：人)

学校名	11	12	13	14	15
奈良教育大学	3	4	1	4	9
奈良女子大学	1	3	10	21	9
奈良県立大学	1	1	3	1	12
帝塚山大学	21	13	18	28	33
天理大学			5	8	12
奈良産業大学	1	3	4	2	11
奈良大学	23	12	11	13	19
大阪樟蔭女子大学					15
計	50	36	52	77	120

表2 受入企業数の推移

年 度	企業数
11	13
12	24
13	24
14	36
15	39



実習希望企業との懇談会

### ■ 本学の現状

本学は奈良県インターンシップ制度に創設時  
から参加していますが、本学からの参加者数に  
ついては、平成十二年度以降増加してきている  
とはいえ、他大学に比べてまだまだ少ないのが  
現状であります。(表1)

受入企業数については奈良県学生相談室のご尽  
力により、職種、人員とも増加しているとい  
う状況です。(表2)

### ■ 今後の課題

学生にとって、インターンシップに参加する  
ことは、実際の職業を通して職業適性や将来の  
設計を考えることができ、職業意識の向上や職  
業選択能力の育成につながるということになり  
ます。

多くの学生の参加が望まれますが、学生の就  
職意欲の低さ、企業の受入人数や職種の制約、  
また、参加までに企業との懇談、事前・事後研  
修の日程や実習期間中と学内行事との重複等が  
参加人数の伸びない理由として考えられます。

今後もガイダンスの充実を図り、参加学生数  
の増加を図るとともに、参加学生の資質向上に  
努め、インターンシップを授業の一環として取  
り入れることや、地元奈良県だけではなく近隣  
府県、企業が独自に実施するインターンシップ  
制度への積極的参加の方策を検討する必要がある  
と考えています。